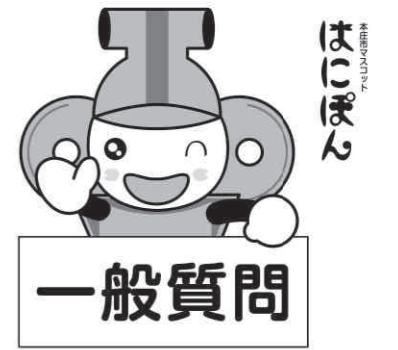




一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では14名の議員が質問を行いましたので、主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容は、会議録（11月下旬発行予定）を議会事務局、児玉総合支所、はにぼんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。また、一般質問を含む本会議の録画中継は市議会ホームページでご覧いただけます。

# ここがポイント! そこが聞きたい!!



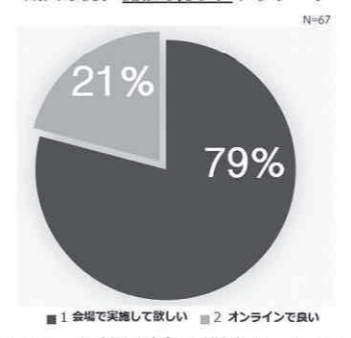
成人の祝いは、新成人が  
願ひ・望むカタチで  
開催するべき  
市議団大地代表 内田 英亮

**問** 本年成人する平成12  
13年に生を受けた新  
成人の願ひ・望みに応えるカ  
タチで成人の祝いの開催を求  
める。新型コロナウイルスは  
来年当初までに収束しないと  
予想される。人生の重要な節  
目である成人式は、晴れ着姿  
で同級生と肩を並べ一緒に祝  
う事にも意義があり、オンラ  
インよりも会場での実施を求  
める声が多い。感染拡大の場  
合は式を来年度に延期するこ  
とも含め開催に向けた検討を。

**答** 成人の祝いは、新成  
人の方が自ら、成人の  
祝ひ実行委員となり、自分た  
ちの手で企画運営しています。  
実行委員会で実施の可否を確  
認した上で、国や県の方針及  
び市のイベント等の対応方針  
に従って、三密を避ける等の  
感染防止を徹底し、新成人の  
門出となる成人の祝ひが開催  
できるよう努めていきます。  
万が一開催できなかった場  
合の代替案としては、例えば、

市や関係者等から新成人に向  
けたメッセージを動画配信し  
後日、記念品と記念冊子を郵  
送するなど、実行委員会の中  
で新成人の意見やアイデアを  
いただきながら、代替案を検  
討していきます。

成人の祝ひ開催のカタチ アンケート



アンケート結果(内田聞取り・67人)

**【その他の質問】**  
・本庄早稲田の杜ミュージアム、及び本市の文化財行政について  
・生ごみの堆肥化、及び本市における環境保全の取り組みについて

高速通信網による  
未来都市構想について  
公明党代表 清水 静子

**問** 政府は誰も取り残  
される事のないデジタ  
ル社会の実現を目指す方針で  
ある。そのためには高速通信  
網の整備が不可欠である。デ  
ジタル社会の第一歩として、  
本市は臨時交付金を活用し、  
キャッシュレス決済を導入す  
るが、今後の展開について伺  
う。また、公共交通や医療等  
のリアルな市民の困った”  
を一挙に解決するための「ス  
ーパーシティ」丸ごと未来都  
市構想について考えを伺う。

**答** キャッシュレス決済  
は、紙幣等の受渡しを  
伴わず、店舗等の現金管理業  
務効率化等のメリットがあり、  
国としても2025年までに  
決済比率を倍増して全体の4  
割程度にすることを目指して  
いるところです。本市では、  
新型コロナウイルス感染症緊  
急経済対策事業として、市内  
の事業者支援、消費活性化、  
キャッシュレス決済の促進を  
図るため、キャッシュレス決

済サービスを活用したキャン  
ペーンを実施します。  
今後の展開については、10  
月から実施する2か月間のキ  
ャンペーン効果を検証し、キ  
ャンペーンの第2弾の実施等  
も含めて検討したいと考えて  
います。



キャッシュレス決済

本市の新型コロナウイルス  
感染症への対応について  
市議団未来代表 門倉 道雄

**問** 今夏、本市において  
PCR検査感染症陽性  
者が増加している。感染した  
ことは悪ではない。偏見や差  
別、誹謗中傷、不当な取扱い  
をせず、情報の見極めや、そ  
れらを発信しないことが肝要  
だ。高齢者・基礎疾患をお持ち  
の方が、重症化・死亡する  
リスクが高い中、介護施設職  
員のPCR検査は行うのか。  
本市の予算の限りの中で、こ  
の新型コロナウイルス感染症  
とどう対峙していくのか伺う。

**答** 本地域のPCR検査  
は、埼玉県の方針によ  
り、新型コロナウイルス感染  
症特有の症状がある場合や、  
医師が検査を必要と認める場  
合に行っています。このほか、  
無症状の場合でも、複数名の  
感染者、濃厚接触者または有  
症状者があり、集団感染の可  
能性がある施設等の職員や利  
用者は、公費負担で検査対象  
になります。

PCR検査は、検査実施時



埼玉県本庄保健所

点での新型コロナウイルスの  
陽性か陰性かを調べるもので  
す。本市の約3000人の介  
護施設職員へのPCR検査の  
実施につきましては、定期的  
に実施することで無症状の感  
染者を発見することは想定で  
きるものの、どこまで有効か  
を判断するものはありません。  
感染拡大の可能性がある場  
合には、必要に応じて保健所  
による検査を実施するという  
埼玉県の方針に基づき対応し  
ていきたいと考えています。  
感染症を正しく理解し、感  
染症対策をしながら経済対策  
を行い、新しい生活様式を取  
り入れながら社会経済の循環  
に尽くしていきます。

**【その他の質問】**  
・令和3年度の予算について  
・市立小・中学校の現在の状  
況と今後について

人生100年時代に対する  
取り組みについて  
自由民主党 林 富司  
本庄クラブ代表

**問** 先進国では長寿社会  
が進み、リンダ・グラ  
ットン教授の著書『ライフシ  
フト』で、人生100年時代  
の戦略が提唱され、日本では  
2007年生まれの子どもの  
半数が107歳まで生きると  
予測されています。そこで、  
人口減少・少子化への取り組  
み、雇用確保のための企業誘  
致、本市の魅力在市内外に発  
信する観光事業の取り組み、  
市民が安心して暮らせる医療  
体制の充実について伺います。

**答** 本庄市まち・ひと・  
しごと創生総合戦略で  
は、「次の時代につながるま  
ち・世のため、後のため」  
を全体目標とし、出生率改善  
若い世代の転出抑制などの課  
題への対応を行っています。  
人生100年時代を見据え、  
将来にわたり持続可能な都市  
であり続けるため、総合戦略  
を着実に推進していきます。  
企業誘致については、地域  
経済の活性化につながるため

観光事業としては、体験型  
観光プログラムの実施や市内  
のイベントや祭りへの支援等  
を行っています。コロナ禍に  
おける観光振興の取り組みも  
視野に入れ、今まで以上に魅  
力の発信に努めていきます。  
医療体制の充実としては、  
今後とも本庄市児玉郡医師会  
近隣の医療機関や自治体、県  
などと連携を図り、市民の皆  
様が診療科の不足を感じるこ  
となく安心して生活できるよ  
う、また、看護師等の医療人  
材の確保に努めていきます。

**【その他の質問】**  
・市立小中学校への携帯電話  
等の持込みについて



**児玉高等学校と  
児玉白楊高等学校の  
統合問題について**  
町田 美津子(無党派)

**問** 飯能市に協議会を設け、置し地元との合意に基づいた新校基本方針を誕生させた県教育委員会は、本庄市に協議会を設置せず、地元との合意を諮らず、自作の新校基本方針(案)の中に、さらに「体育の類型を設ける」との一文を追加し、児玉高校の体育コース廃止の新校基本方針を誕生させた。市は協議会を「考えていない」との姿勢をとる。新校の体育施設の整備に対する市の見解を求める。

**答** 新校の基本方針の1つに「普通科において、北部地域唯一の体育コースの学びを継承するため、スポーツに関する多彩な授業を展開する体育の類型を設ける」と示されました。「体育の類型」の内容は、「新校基本計画」の策定後に両校で組織される新校開設委員会で定めることであり、児玉高校の体育コースでの学びと同程度の内容を学ぶことができるよう検討を

進めているとのことでした。

児玉白楊高校の場所への新校設置とのことから、基本的には児玉白楊高校の施設設備の使用が予想されます。県教育委員会は、施設設備計画について「体育の類型」や部活動への支障が出ない等、十分な教育活動の実施ができるよう検討していくとのことでした。市教育委員会としては、地域に根差した伝統ある両校の良さを引き継ぎ、新校の活性化と特色化を図り、魅力ある学校づくりが進められるよう県に伝えていきます。



児玉高等学校のトレーニングセンター

**【その他の質問】**  
・間瀬ダム(第1ダム・第2ダム)の老朽化問題について  
・市内小中学校の新型コロナウイルス感染症予防対策について

**合併15周年の本市のPRと  
市の木・市の花制定について**  
富田 雅寿(市議団大地)

**問** コロナウイルス対策により、様々なイベントが中止となった本年。このピンチの年、本市は合併15周年です。他市町がお休みしている今、ピンチをチャンスと考え、内外に本市をPRすべきと思います。観光やイベント以外で、どのようなPRをお考えか伺いたします。

**答** 合併15周年を記念して内外にPRしようとする市の花を制定してほしいと思いますが、いかがでしょうか。

**問** コロナウイルス対策により、様々なイベントが中止となった本年。このピンチの年、本市は合併15周年です。他市町がお休みしている今、ピンチをチャンスと考え、内外に本市をPRすべきと思います。観光やイベント以外で、どのようなPRをお考えか伺いたします。

**答** 合併15周年を記念して内外にPRしようとする市の花を制定してほしいと思いますが、いかがでしょうか。



本年中止の秋祭り、昨年度のポスター

えていきます。その1つとして、10月からリニューアルする市のホームページにおいて、移住情報サイト、子育て応援サイトなどの特設サイトを開設し、本市の魅力を市内外に情報発信していく予定です。

市の木、市の花の制定については、市を対外的にPRし、また市民のふるさとへの愛着を喚起していく1つの方法として、大変意義のあることと認識しておりますが、その制定に当たっては、市民の皆様との機運の高まりや合意形成が不可欠であると考えています。そのため、今後も制定に向けた機運の高まりに呼応し、皆様のご意見を伺いながら検討してまいります。

**【その他の質問】**  
・市内環境(道路・緑・上下水道・雨水溝等)について

**小学校のプールの  
在り方について**  
高橋 和美(市議団大地)

**問** 各小中学校に設置されているプールの利用は年間30日程度ですが、水道代や消毒液、ろ過装置など管理費がかかり、また、老朽化したプールの改修費も必要です。先生方にはプール清掃や水質管理、児童の安全管理など大変な負担があります。そこで、将来に向けて水泳授業の民間委託の検討や、2校に1プールに統合するなどプールの在り方の検討が必要だと思えますが、お考えをお聞かせください。

**答** 学校における水泳学習は、児童が水と親しみ、水による事故の危険性を学び、泳力の向上を図るための貴重な場であると考えています。プールの維持管理のための経常的な経費は、水道料金をはじめ、消毒薬品等の購入、循環装置の保守点検に必要な費用など、令和元年度は1310万円程度で、1校あたり約82万円でした。水泳の授業を民間委託した



市内小学校のプール

場合、プールの維持管理費の軽減、インストラクターによる専門的な指導を通しての泳力向上などの効果が期待できます。一方で、スイミングクラブへの児童生徒の送迎、スイミングクラブの移転や廃業等のリスク、万が一事故が発生した際の責任の所在の明確化などの課題があります。

また、近隣の学校でプールを共用している他市の事例も出てきています。維持管理費を軽減できるメリットがあり、児童の移動手段など解決すべき課題もありますが、今後の選択肢の1つとなり得ると考えています。今後も引き続き、先進自治体の情報を収集し、研究していきます。

**【その他の質問】**  
・地域経済循環に向けての施策について

**本庄市の  
マスコミキャラクター  
はにぼんについて**  
山口 豊(自由民主党本庄クラブ)

**問** 本年は、本市のマスコミキャラクターはにぼん誕生10周年の年であり、平成22年に、本市指定文化財でもある笑う盾持人物埴輪をモチーフに誕生し、市内外を問わず、様々な行事やイベントに参加し、本市のPRや市民の郷土愛の醸成を実現したと感じられます。誕生してから10年、今日までの評価や経済効果、キャラクターコストを伺います。

**答** はにぼんは、誕生以降、イベントへのお出掛けや、はにぼんのデザインを活用したグッズ等の販売、ツイッターとフェイスブックを活用した情報発信など、様々な活動を重ねるごとに、市民の皆様が親しまれるマスコミキャラクターとして定着してきました。加えて、ゆるキャラグランプリでは全国第2位となり、本市の知名度の向上に貢献しているものと評



はにぼんフェスティバル2019

価しています。また、はにぼんフェスティバルは、過去7回の開催で累計約1万人の皆様に来場いただいています。経済効果については、目に見える形で示すことは難しいですが、はにぼんの活動は、市民の郷土愛の醸成や、全国に向け本市の名を発信する手段となっており、数値では計り知れない大切な価値を有していると考えています。

また、はにぼんに係るコストとしては、過去3年間では150万円から270万円の予算を毎年度支出しています。はにぼんの活動により地域が盛り上がり、多くの方に笑顔が届けられるよう、本市の顔として、様々な活動を展開していきたいと考えています。

**【その他の質問】**  
・本庄市の生態系について

**在宅介護にかかる支援及び  
ヤングケアラーについて**  
堀口 伊代子(市議団未来)

**問** ①身体介護等体力が必要な介護や認知介護は事故等伴う危険性があると指摘されている。老老介護・認知介護・障害を持つ家族がいる世帯・高齢単身世帯の見守り等強化が必要だと考えられている。②18歳未満で家族のケアを行う子どもをヤングケアラーと呼ぶ。年齢未成熟で家族のケアを行う子どもをヤングケアラーと呼ぶ。認知が広まっておらず学業・心身の不調などが懸念されている。小・中学校生における実態調査と支援について伺う。

**答** 本市の要支援、要介護の認定者数は3571人で、65歳以上の高齢者全体での要介護認定率は16.1%です。そのうち施設介護サービス利用者は16%で残りの84%は在宅で生活をされています。

本市では、4つの日常生活圏域にそれぞれ地域包括支援センターを開設し、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的に支援を行っています。



市内6地域で開催している認知症カフェ

ます。そのほか、民生委員・児童委員による地域の見守り活動や社会福祉協議会の70歳以上の高齢者世帯等の安否確認事業などで高齢者の不安解消に努め、市内の郵便局や民間企業とも覚書結び、高齢者の見守りの強化を図っています。

介護サービスの充実に併せて、市の強みである地域力を活かした支援をさらに考えていきます。

18歳未満の子どもの実態に関する公式データはありません。埼玉県ではケアラー支援条例を今年3月に公布し、7月から県内全ての高校2年生へ実態調査を行い、支援計画をまとめる予定です。市では、県が策定する支援計画等を基に対応を検討していきたいと考えています。

**本庄市における  
子どもの貧困について**

巴 高志(市議団未来)

**問** 新型コロナウイルス 感染拡大で経済的貧困を抱える子どもの家庭に暗い影を落としています。学校の一斉休校で給食が無くなり、親は仕事が減ったり無くなったりと生活に支障が出ています。このコロナ禍の中で、経済的に苦しい家庭に対して今まで以上の支援体制が必要と なっています。こうした家庭の子ども達のための本庄市の支援の現状と今後の対策についてお聞かせ下さい。

**答** 本市では、子どもの健全な成長を確保するため、親の妊娠・出産期から生活困窮を含めた家庭内の課題を早期に把握した上で、子どもが社会的に自立できるまでの間、子育て支援施策全体の中で、切れ目なく関係機関と連携しながら適切な支援を包括的に実施しています。子ども医療費の助成、保健センター及び家庭児童相談室での相談援助、生活保護世帯

や生活困窮世帯の子どもの学習支援や進路相談など様々な取り組みを行っています。今年度は、学用品費や学校給食費等の一部を助成する就学援助制度の対象者の拡充や、ひとり親世帯には、従来の児童扶養手当による支援に加え、市独自で1世帯につき3万円を支給するなどしています。

また、本市には民間の運営による子ども食堂が2か所あり、地域社会で子どもを育てる取り組みも行われています。今後は、次期子ども・子育て支援事業計画の見直しの中で、貧困の実態調査を行い、貧困対策についての計画の策定を検討していきます。

**【その他の質問】**  
・本庄市の超高齢社会における市立図書館の役割について



**公共施設の利用について**

矢野間 規(市議団未来)

**問** ①スポーツ少年団等の登録団体は利用する2ヶ月前の1日から7日の間にわざわざ指定された窓口に行き、予約を確定することになっているが、オンラインで対応出来ないのか。②小学校の体育館を利用する際、児玉地区では鍵の返却窓口が遠く、利用者にとって大きな負担であり、早急な対応が必要だがいかがか。③体育館の鍵の管理に関して、電子キーの採用を提案するが市の考えを伺う。

**答** 現行の本庄市公共施設予約システムは、市内の体育館やグラウンド等の空き状況を確認し、定期利用団体については仮予約ができるものです。本予約には窓口で申請書の提出と使用料の支払いが必要で、この予約形態は、仮予約のまま利用しないケースがあった場合、実際に利用したい方が利用できなくなることを防止するためのものです。

今回のシステム更新の際には、利便性の向上のため、オンライン予約について検討していきたいと考えています。児玉地域の小中学校の体育館の鍵は、エコーピアに返却することになっています。本庄地域では、各学校の施設で返却可能なポストに返却可能であるため、児玉地域でも同様に実施できるように児玉地域の小中学校と早急に調整していきます。

小中学校の体育館への電子キーの採用には、費用面や学校施設の施設についての適切な管理面において様々な課題があると考えています。今後、総合的な面から研究していきたいと考えています。

**【その他の質問】**  
・小中学校のICTの活用について



児玉地区の鍵の受渡し場所、エコーピア

**新型コロナウイルス感染症  
対策に関連して**

柿沼 綾子(無党派)

**問** 医療機関、介護施設、保育園、学校などで働く職員や出入り業者への定期的なPCR検査を行うことへの考えを伺う。また、農業従事者への10万円の臨時給付金の支給についてはどうか。

好評で追加補正をした店舗改修補助金だが、市民の住まいの安全確保などのために住宅リフォームへも補助を拡げる考えはないか。学校での密を避けるための少人数学級を市で実現させられないか。

**答** 医療機関等の職員のPCR検査については、市としては、クラスター発生等の可能性がある場合に必要に応じて保健所による検査を実施するという埼玉県の方針に基づき、現時点では対応していません。農業従事者については、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策等に必要経費を支援する経営継続補助金等の国の各種支援策の周知、活用の

**市民を守るための  
情報精査と伝達について**

山田 康博(市議団未来)

**問** コロナ禍の中、各種報道により不安を抱える日々、市民を守るとい立場から正確な情報入手・精査し伝達すべきと考える。その医学的根拠の判断基準、これから始まりつつある医療現場の混乱が予想されるインフルエンザ感染シーズンの対応策を問う。併せて、ワクチン確保前の「免疫力」という観点からの感染予防、ワクチン確保後の接種シミュレーションを伺います。

**答** 本市は、市長を本部長とする新型コロナウイルス対策本部を設置し、その中で国・県からの基本的対応方針等や、専門家会議の提言に基づいて検討を重ね、判断してきました。本市では国・県のような専門家会議は設けていませんが、個別具体的に医学的知見が必要な場合は、医師会、保健所から助言をいただいています。現在、国においてワクチン



**【その他の質問】**  
・聞こえの良くない人への対応について

**コロナ禍後の本市の  
まちづくりについて**

田中 輝好(無党派)

**問** 「アフターコロナ」の時代を想定し、市内の通信環境の整備は行政において重要な課題である。リモートワークを行う上での環境整備を、行政の責任で行う範囲と個人や企業が行う範囲の基準が必要であると言える。総務省が推奨するローカル5Gについての見解とともに市の考えを伺いたい。また、通信インフラを多く保有する本庄ケーブルテレビと市の関係についても伺う。

**答** 次世代の通信規格5Gは、大手通信事業者が全国の普及に向けた整備を進める一方、ローカル5Gは、5Gの整備を待たずに、企業や自治体から自らの建物や敷地内にスポットで柔軟に構築できる5Gシステムとなります。次世代高速通信である5Gやローカル5Gは、今後人々の生活を大きく変えると言われており、本市としても今後予定される実証実験の結果や全

国的な動向に注意し、様々な施策にどのように取り入れて活かしていくか調査研究を進めていきたいと考えています。本市は、本庄ケーブルテレビの株主となっており、現在本庄ケーブルテレビが保有するインフラで本市が利用するものには光回線があり、市役所窓口のWi-Fiや議会中継に使用しています。また、本庄ケーブルテレビでは災害時の避難所等へ環境が整い次第、公衆無料Wi-Fiを提供予定となっています。今後はますます情報インフラの重要性は高まると認識しており、本市としても引き続き様々な視点から調査研究していきたくと考えています。

**【その他の質問】**  
・市内中学校での部活動について

